

殺ダニ剤の登録一覧表

(2018年用)

JA全農山形 生産資材部

2017年12月1日 作成

薬剤名	ボルドー液・混用	希釈倍数													特 性 お よ び 注 意 事 項		
		りんご	おうとう	もも	ぶどう	なし	きゅうり	トマト	なす	すいか	いちご	メロン	かき	菊(花き)		食用ぎく	ばら
ダニサラバフロアブル	×	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	1,000	1,000	1,000	1,000	-	1,000	1,000	1,000	・ハダニの全ての生育ステージに対して効果を示し、特に幼虫から若虫に対して効果がある。 ・天敵その他の有用動物に対して影響が少ない。 ・ボルドー液との混用は避け、近接散布は前後14日以上あける。 ・アリエティック水和剤、カルシウム剤と混用する場合、ダニサラバフロアブルを先に溶かす。 ・スターマイトフロアブル、ダニコングフロアブルを使用した場合、抵抗性出現防止のためダニサラバフロアブルは使用しない。 ・他に小粒核果類、ピーマン、花き類・観葉植物等で登録あり。
スターマイトフロアブル	×	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	-	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	-	・ハダニの全ての生育ステージに対して効果がある。 ・ダニサラバフロアブル、ダニコングフロアブルを使用した場合、抵抗性出現防止のためスターマイトフロアブルは使用しない。 ・ボルドー液との混用および14日以内の近接散布は効果があるのを避ける。 ・有袋栽培の洋なしに使用する場合は、果実の薬斑が目立つおそれがあるので、袋かけ前の散布はしない。 ・ペフラン液剤、アリエティック水和剤と混用する場合、スターマイトフロアブルを先に溶かす。 ・有用昆虫(ミソバチ、マルハナバチ、マメコバチ)およびカブリダニ等の天敵に対する影響が少ない。 ・他に小粒核果類、食用ほおずき、りんどう、ピーマン等で登録あり。
ダニコングフロアブル	×	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	-	-	-	-	-	2,000	-	-	-	-	・ハダニの全ての生育ステージに対して効果がある。 ・天敵その他の有用動物に対して影響が少ない。 ・ダニサラバフロアブル、スターマイトフロアブルを使用した場合、抵抗性出現防止のためダニコングフロアブルは使用しない。 ・ボルドー液との混用および14日以内の近接散布は効果があるのを避ける。 ・他に小粒核果類等で登録あり。
ダニゲッターフロアブル	×	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・ハダニ類の全ステージに効果があるが、特に卵・幼虫に対する効果が高く、残効性が長い。 ・選動的だが、成虫には不妊作用を示す。 ・ボルドー液との同時散布および前後14日以内の近接散布は効果がある恐れがあるので避ける。 ・新梢伸長期の日本なし(二十世紀を除く)に使用する場合は、以下の事項に注意する。 (1)豊水、新高、長十郎には新葉に薬害を生じる恐れがあるので使用しない。 (2)有機リン剤との同時散布および10日以内の近接散布は新葉に薬害を生じる恐れがあるので避ける。 ・おうとうに使用する場合は、新梢伸長期に薬害を生じることがあるので、葉の硬化を持って使用する。 ・キャベツ、はくさい、こまつな、ねぎ、ばらに対して薬害を生じる恐れがあるので、付近にある場合からないように注意すること。 ・開花期の水稲に本剤がかかった場合、不稔などの薬害を生じる場合があるのでからないように注意する。 ・小粒核果類で登録あり。
バロックフロアブル	×	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	-	2,000	2,000	2,000	2,000	-	2,000	-	2,000	・成虫に対する活性は低いが、卵・幼虫・若虫の各ステージに活性が高く長い残効がある。 ・ボルドー液散布14日前まで使用し、ボルドー液散布後は使用しない。 ・すもも、花き類・観葉植物にも登録あり。
マイトコーネフロアブル	×	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	-	・ミソバチ・蚕およびカブリダニ等の天敵に対する影響が少ない。 ・ボルドー液との混用は避け、近接散布は前後14日以上あける。 ・小粒核果類、ミソトマ、ピーマン、食用ほおずきにも登録あり。
コロマイト水和剤	○	2,000	-	-	2,000	2,000	2,000	-	2,000	2,000	2,000	2,000	-	2,000	2,000	2,000	・蜜に長期毒性があるので、桑葉にからないように注意すること。 ・乳剤は、薬害防止のため安全性が確認された薬剤のみ混用する。 ・乳剤は、汎用性農着剤以外および葉面散布肥料とは混用しない。 ・乳剤はトマト・ミニトマトのナジラミ類、トマトサビダニ、ハモグリバエ類に登録あり。 ・乳剤は小粒核果類、ミニトマト、食用ほおずきにも登録あり。
コロマイト乳剤		1,000	1,000	1,000	-	1,000	1,000	1,500	1,500	1,000	1,000	1,000	-	1,500	-	-	
コテツフロアブル	×	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	-	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	・ぶどうは収穫60日前までの使用なので注意する。 ・蜜毒性があるので、桑園周辺では飛散しないように注意する。 ・ハクサイ・ダイコン・きゅうり・なすの幼苗期は薬害の恐れがあるので使用不可。 ・オクラではオオタバコガに登録あり。 ・スイカではミナミキイロアザミウマにも登録あり。 ・小粒核果類、ミニトマト、ピーマン、花き類・観葉植物(さく、ストックを除く)にも登録あり。
ピラニカEW	○	-	1,000	1,000	-	-	2,000	-	2,000	2,000	2,000	2,000	-	1,000	-	2,000	・原液を皮膚や目に直接付着しないようにする。(刺激が強い) ・サンマイト・ダニロンは交差抵抗を示すので混用は避ける。 ・EWは花き類・観葉植物(ナニシキ、きくを除く)に登録あり。
ピラニカ水和剤		1,000	1,000	1,000	(大粒種)2,000	1,000	-	-	-	-	-	-	2,000	-	-	-	
サンマイト水和剤	○	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	-	-	-	-	1,000	-	-	-	-	・原液を皮膚や目に直接付着しないようにする。(刺激が強い) ・ダニロン・ピラニカは交差抵抗を示すので混用は避ける。 ・フロアブル剤は、えだまめ、食用ほおずき、クワフルーツに登録あり。 ・水和剤はすもも、クワフルーツに登録あり。
サンマイトフロアブル		-	-	-	-	-	1,000	-	-	1,000	1,000	1,000	-	1,000	1,000	-	-
ダニロンフロアブル	○	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	2,000	1,000	2,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	1,000	・原液を皮膚や目に直接付着しないようにする。(刺激が強い) ・サンマイト・ピラニカは交差抵抗を示すので混用は避ける。 ・クワフルーツ、うめ、ミニトマト、ほうれんそう、ピーマン、花き類・観葉植物にも登録あり。
カネマイトフロアブル	×	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	1,000	1,000	1,000	1,000	-	1,000	1,000	-	・アリエティックと混用する場合は、カネマイトを先に希釈し混用する。 ・ボルドー液との混用は避け、近接散布は前後14日以上あける。 ・うめ、すもも、うり類(漬物用)、ピーマンにも登録あり。

※1:()内に表示されている記載については、各県ならびに本会農業研究室の試験結果ならびにメーカーの情報を参考に農本部独自で評価した内容となっています。

※本資料作成以降に農薬の適用内容が変更になる場合もあるため、ご使用される際にはラベルの登録内容を再度ご確認ください。なお、記載している希釈倍数については、登録濃度の高い希釈倍数のみを記載しています。

※各薬剤共、ボルドー液と混用して使用すると効果が低下したり、残効期間が短くなるようなので留意願います。

※殺ダニ剤は抵抗性回避のため各薬剤共、年1回に厳守願います。

